

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年12月19日

計画の名称	枚方市 地域拠点における魅力ある都市づくり												
計画の期間	平成31年度 ~ 令和02年度 (2年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	枚方市												
計画の目標	地域資源を活かした拠点機能の強化による市の"玄関口"におけるまちの賑わい向上 目標1:文化・芸術を身近に学び生かすとともに、賑わいと魅力あるまちづくり 目標2:子育てしやすいまちづくり												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,797	A	1,797	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値	最終目標値 (H32末)
1	枚方市駅周辺地区の賑わい向上による地価公示価格の上昇 枚方市駅周辺地区の地価公示価格	461千円/m ²	千円/m ²	530千円/m ²
2	枚方市駅周辺地区への来訪者数の増加による売り上げの増加 枚方市駅周辺地区への来訪者数による飲食、ショッピング等の売り上げ金額	310百万円/年	百万円/年	757百万円/年
3	香里団地センター地区の公共施設利用者の増加による図書等貸出冊数の増加 香里団地センター地区の公共施設利用者への図書等貸出冊数	444046冊/年	冊/年	530000冊/年
4	香里団地センター地区の人と自然との共生を図る住民満足度の向上 香里団地センター地区の住民満足度	59%	%	61%
5	枚方市駅周辺地区、香里団地センター地区内の保育施設の定員数の増加 枚方市駅周辺地区、香里団地センター地区内における公立保育所の定員数	290人/年	人/年	310人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	枚方市	直接	枚方市	-	-	枚方市駅周辺地区都市再生整備計画事業(都市再構築戦略事業)	区域面積:約103ha	枚方市						1,407		-	
	H27~H30:「枚方市 地域拠点における魅力ある都市づくり」																			
	A10-002	都市再生	一般	枚方市	直接	枚方市	-	-	香里団地センター地区都市再生整備計画事業(都市再構築戦略事業)	区域面積:約19ha	枚方市						390		-	
	H27~H29:「枚方市 地域拠点における魅力ある都市づくり」、H30:「香里団地センター地区都市再生整備計画」																			
											小計						1,797			
											合計						1,797			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31				
配分額 (a)	339				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	339				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	339				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	100				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	支払いが未だのため				

事前評価チェックシート

計画の名称： 枚方市 地域拠点における魅力ある都市づくり

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性
円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。

III. 計画の実現可能性
円滑な事業執行の環境 3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。

○

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年12月19日

計画の名称	香里団地センター地区都市再生整備計画												
計画の期間	平成30年度 ~ 平成30年度 (1年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	枚方市												
計画の目標	香里団地の再生まちづくり 目標1：まちのさらなる賑わいの創出 目標2：人と自然との共生を図る 目標3：子育てしやすいまちづくり												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	321	A	321	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値	最終目標値 (H31末)
1	中心市街地の公共施設利用者への図書等貸出冊数(香里ヶ丘図書館)の増加 中心拠点区域における公共施設利用者への図書等貸出冊数	444046冊	冊	530000冊
2	住民満足度の向上 人と自然との共生を図るに対する住民満足度	59%	%	61%
3	区域内の地域子育て支援拠点利用人数の増加 区域内における地域子育て支援拠点の利用人数	5705人	人	6000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	H32	H33	H34				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	枚方市	直接	枚方市	-	-	香里団地センター地区都市再生整備計画事業(都市再構築戦略事業)	区域面積:約19ha	枚方市						321		-	
		H27~H29:「枚方市 地域拠点における魅力ある都市づくり」、H31:「枚方市 地域拠点における魅力ある都市づくり」																		
												小計						321		
											合計						321			

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年12月19日

計画の名称	枚方市 地域拠点における魅力ある都市づくり												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成30年度 (4年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	枚方市												
計画の目標	地域資源を生かした拠点機能の強化による市の“玄関口”におけるまちの賑わい向上 目標1：文化・芸術を身近に学び生かすとともに、賑わいと魅力あるまちづくり 目標2：子育てしやすいまちづくり												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,827	A	1,827	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値	最終目標値 (H32末)
1	枚方市駅周辺地区の賑わい向上による地価公示価格の上昇 枚方市駅周辺地区の地価公示価格	461千円/m ²	千円/m ²	530千円/m ²
2	枚方市駅周辺地区への来訪者数の増加による売り上げの増加 枚方市駅周辺地区への来訪者による飲食、ショッピング等の売り上げ金額	310百万円/年	百万円/年	757百万円/年
3	香里団地センター地区の公共施設利用者数の増加による図書等貸出冊数の増加 香里団地センター地区の公共施設利用者への図書等貸出冊数	444046冊/年	冊/年	530000冊/年
4	香里団地センター地区の人と自然との共生を図る住民満足度の向上 香里団地センター地区の住民満足度	59%	%	61%
5	枚方市駅周辺地区、香里団地センター地区内の保育施設の定員数の増加 枚方市駅周辺地区、香里団地センター地区内における公立保育所の定員数	290人/年	人/年	310人/年

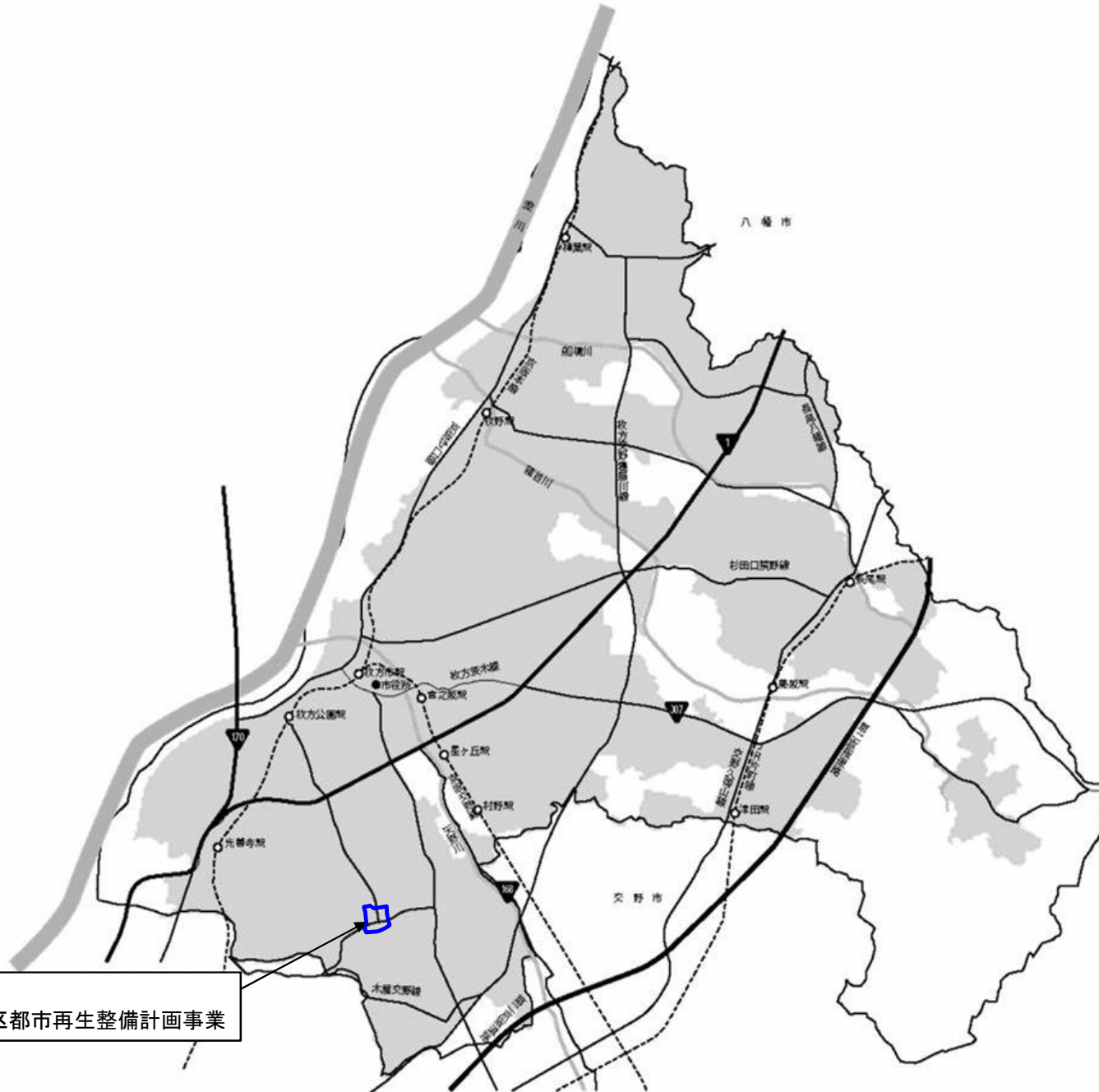
備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	枚方市	直接	枚方市	-	-	枚方市駅周辺地区都市再生整備計画事業(都市再構築戦略事業)	区域面積:約103ha	枚方市						1,820		-	
	H31~32:「枚方市 地域拠点における魅力ある都市づくり」へ移行																			
	A10-002	都市再生	一般	枚方市	直接	枚方市	-	-	香里団地センター地区都市再生整備計画事業(都市再構築戦略事業)	区域面積:約19ha	枚方市						7		-	
	H30:「香里団地センター地区都市再生整備計画」、H31:「枚方市 地域拠点における魅力ある都市づくり」																			
											小計						1,827			
											合計						1,827			

(様式第3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	香里団地センター地区都市再生整備計画	交付対象	大阪府枚方市
計画の期間	平成27年度 ~ 令和元年度 (5年間)		



A10-001
香里団地センター地区都市再生整備計画事業

都市再生整備計画(第4回変更)

こうりだんち 香里団地 ちく センター地区
(都市再構築戦略事業)

おおさかふ 大阪府 ひらかたし 枚方市

令和 2 年 3 月

様式1 目標及び計画期間

都道府県名	大阪府	市町村名	枚方市	地区名	香里団地センター地区(都市再構築戦略事業)	面積	約19ha
-------	-----	------	-----	-----	-----------------------	----	-------

計画期間	平成 27 年度 ~ 令和 元 年度	交付期間	平成 27 年度 ~ 令和 元 年度
------	--------------------	------	--------------------

目標

香里団地の再生まちづくり

目標1: まちのさらなる賑わいの創出 目標2: 人と自然との共生を図る 目標3: 子育てしやすいまちづくり

目標設定の根拠

都市全体の再構築方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための再構築方針)

<都市全体の再構築方針>

本市では、昭和30年頃を初めとした成長期に、急速な人口増加を伴う鉄道駅や郊外における住宅開発が行われたことから、市街地の拡大が進むとともに都市基盤や公共施設の拡散した整備が行われました。また、近年では、幹線道路の沿道を中心とした商業施設の立地が進むとともに、主要な公共施設施設の更新や機能強化が課題となり、主要な拠点における求心力が低下しつつあります。

本市では、今後、将来的な人口減少、高齢化や多様化する社会ニーズに対応した都市づくりが求められていることから、今後の都市づくりにおいては、現在の良好な都市環境を維持し続けるとともに、人々が交流し、活動しやすく、さらに魅力ある都市を目指していくために、平成23年3月に策定した「枚方市都市計画マスタープラン」に基づき鉄道駅の周辺等に効率の良い拠点の配置を進めることとしております。

このことから、拠点を中心として、公益施設の重点的な整備や都市機能の集積等や、現状の都市基盤を活用し重点的な強化をすることで、都市機能の充実を図る求心力を向上させた拠点を形成します。また、郊外での開発を抑制するとともに、拠点を中心とした市街地の形成や居住の誘導を図ることで、市街地のコンパクト化を実現するために立地適正化計画を作成し、都市の再構築を進めていきます。

次に、市有施設の再整備にあたっては、既存ストックの有効活用と都市機能の拡散防止を念頭に置き、主要な公共施設を中心市街地に配置する「コンパクトなまちづくり」を基本にして、平成25年3月に策定した「市有財産等の有効活用に関する基本方針」に基づき、市有財産を地域の課題解決につながる有効な活用方法の検討を進めます。今後、公的不動産の活用策として効率的・効果的な有効活用を図ることにより施設の再編等の取り組みを進めていきます。

<地区の再構築方針>

香里団地センター地区は、昭和30年代に土地区画整理事業によって都市基盤や住宅団地の整備がなされた「香里団地」を含む南部地域に位置し、地区の周辺の住宅地には多くの居住者を有するとともに、市の支所等の公共・公益施設や地域住民の生活に必要な商業施設等の都市機能が集積し、多方面に繋がるバス等の公共交通の交通利便性に支えられて発展してきた南部地域の中心地となっており、「枚方市都市計画マスタープラン」における主要な拠点となっています。

近年では、この団地内の施設の多くは、老朽化が進み地域の活力が低下しつつあったことから、現在、UR都市機構を中心として香里団地の再生が進められています。

このことから、本地区を発展させ都市再構築につなげていくために、団地再生に併せて、教育文化施設(図書館)の機能向上と地域の賑わいを創出するとともに、居住を促進する子育て支援の充実を図ることで、拠点としての求心力を向上させていきます。また、図書館の整備にあたっては、隣接の集会所との高度利用化により既存の敷地の有効活用を図るとともに、併せて市内の公立保育所の再編を進めることで、都市機能の集約化と郊外への拡散を防止するとともに、公的不動産の有効活用の取り組みを促進します。

まちづくりの経緯及び現況

・本地域は、平成23年3月に策定した「枚方市都市計画マスタープラン」においては、緑空間の保全等によりみどり豊かで良好な住環境を形成するとともに、地域の中心となる本地区においては、日常生活における多様な世代のニーズにあわせた商業機能やサービス機能の集積を図ることとしています。

・現在、UR都市機構や民間事業によるまちの再生が進められています。

・本地域の文化の拠点施設となる香里ヶ丘図書館については、バリアフリー化や地域住民の学習や情報活用の場としての機能の向上等の社会ニーズへの対応が求められています。

課題

・市民の生涯にわたる自主的な学習活動を支える施設として、教育・子育て、地域の活動や芸術に関する資料・情報の整備・提供や各種施策と連動したイベント等を実施する地域の賑わい形成と文化の振興に対応した文化施設の整備が求められている。

・文化施設(図書館)の整備と一体となって活用する緑空間、高質空間の提供と地域住民の憩いやふれあいの場が求められている。

・平成27年度からの子ども・子育て支援新制度に沿って、保育需要への柔軟な対応と地域子育て支援機能を充実させ、待機児童問題の解消と子育て支援の充実を図るとともに、将来的な人口減少、高齢化が予測されることから都市の将来を支える若年世代の居住が求められている。

将来ビジョン(中長期)

・「第4次枚方市総合計画第2期基本計画(平成21年4月)」では、学び続けるよここびのあるまちをつくることを目標としており、地域の住民の生涯学習や情報活用の場となる図書館サービスの充実を図ることとしています。

また、子どもたちを育む環境を整えることを施策目標とし、地域の子育て支援の充実を図ることとしています。

・平成21年7月に策定した『枚方市保育ビジョン』において、地域毎に7か所の公立保育所を「基幹的保育所」や「地域子育て支援の拠点」と位置づけ、地域子育て支援拠点のネットワークにより連携し、子育て支援等を推進することとしています。

都市再構築戦略事業の計画

都市機能配置の考え方

本市では、枚方市駅を含む鉄道12駅と主要なバス停等の圏内を中心に地域拠点の形成を進めるとともに、商業・業務施設や行政サービスや文化活動を行う公共・公益施設を立地させ都市機能の整備を進めています。本地区は、南部地域の主要な地域の拠点となっているとともに、周辺では商業、教育、福祉、医療、行政といった施設の再整備が進みつつある状況であることから、これに併せて重点的に都市機能の充実を図っていくことが求められています。本計画では、地域住民に交通利便を提供し、鉄道駅や多方面へのバス路線の交通結節点としてターミナル機能を有したバス停「新香里」の徒歩圏約500mを対象にした区域を「中心拠点誘導区域」として位置づけを行い、地域内外の来訪者のための文化・芸術活動、生涯学習、情報活用を図るとともに、地域の文化的活動を活性化させるために香里ヶ丘図書館の整備を行います。なお、香里団地保育所では、待機児童解消のための定員増に対応するとともに、保育環境改善のために保育室等の改修や相談室の整備を行い保育機能を強化することで、団地再生に併せて子育て支援の充実や新たな子育て世代の居住の促進を図ります。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な中心拠点誘導施設及び生活拠点誘導施設の考え方

市民の生涯にわたる自主的な学習活動を支え、促進するとともに、地域が抱える様々な課題解決の支援を行う役割を担い、教育・子育て、地域の活動や芸術に関する資料・情報の整備・提供などを行うとともに、各種施策と連携した事業やイベント等を実施するために、「集会機能」を有した図書館として香里ヶ丘図書館を整備します。

都市再生整備計画の目標を達成するために必要な交付対象事業

・新たな文化施設(図書館)の整備と併せて、施設利用者及び住民の憩いや文化活動の場として、地域の貴重な緑空間を提供する高質化空間の形成を目的に香里ヶ丘中央公園の整備を行うことで、文化施設と一体となった文化拠点を形成します。

目標を定量化する指標

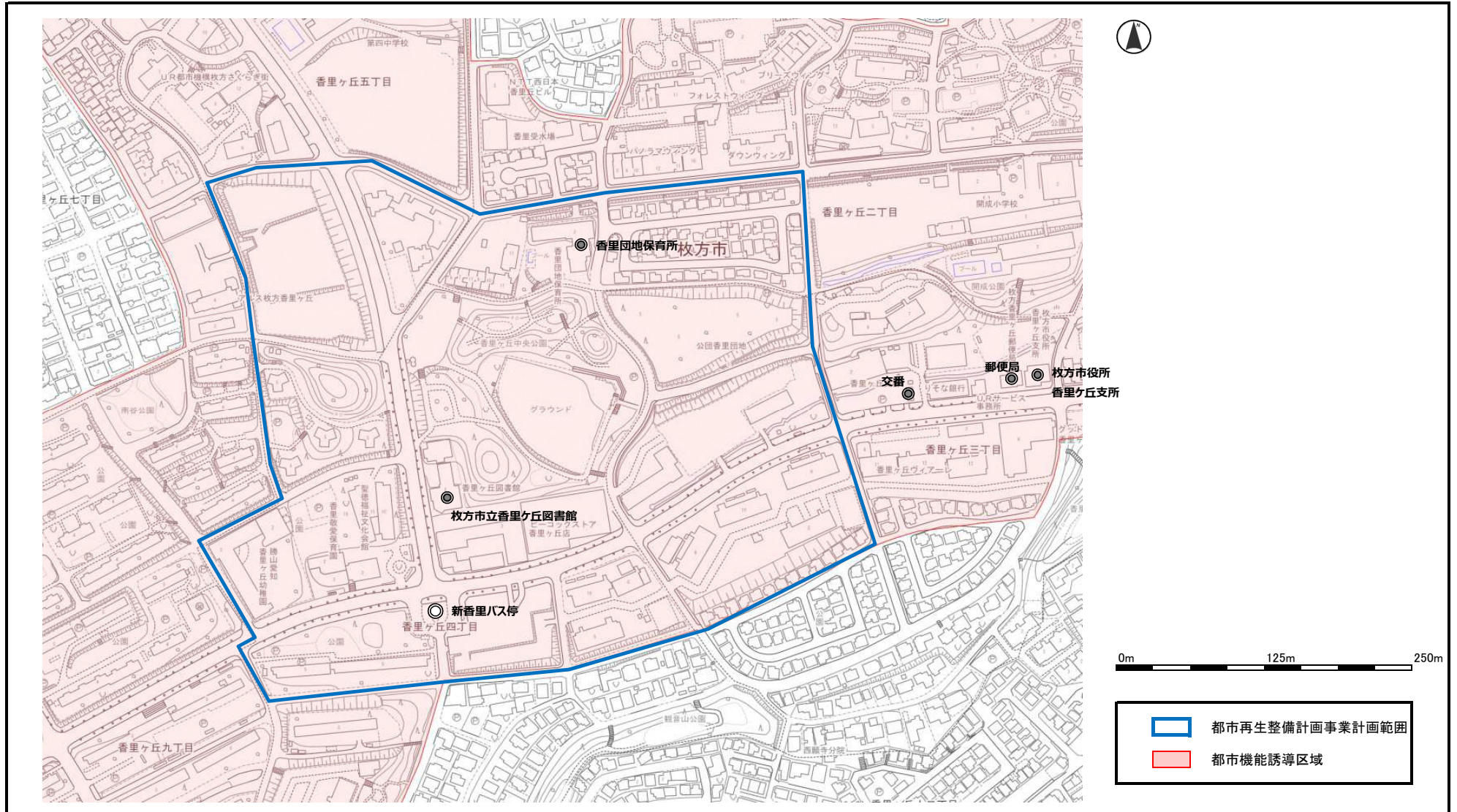
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
中心市街地の公共施設利用者への図書等貸出冊数(香里ヶ丘図書館)	冊/年	中心拠点区域における公共施設利用者への図書等貸出冊数の増加	公共交通の利用と連携した中心市街地のさらなる賑わいの創出	444,046	H25	530,000	H31
住民満足度	%	人と自然との共生を図るに対する住民満足度	地域の賑わい形成に資するとともに市民が自然とふれあい、憩いと潤い、安らぎの空間を提供	59.7	H25	61.7	H31
区域内の地域子育て支援拠点利用人数	人/年	区域内における地域子育て支援拠点の利用人数	地域子育て支援機能の充実	5,705	H24	6,000	H27
公園使用回数	回/年	公園を活用した地域イベント等の実施回数	多種多様なイベントの開催による賑わいの創出	9	H29	21	H31

様式2 整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【まちのさらなる賑わいの創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本地区においては、団地再生に併せて、地域住民の生涯学習や情報活用の場となり、地域文化の拠点施設となることを目指して、香里ヶ丘図書館及び隣接の集会室との高度利用化を行い「集会機能」を持った図書館として整備を行います。 	<p>【基幹事業】</p> <p>中心拠点誘導施設(教育文化施設): 枚方市立香里ヶ丘図書館整備事業</p> <p>【関連事業】</p> <p>UR団地再生事業</p>
<p>【人と自然との共生を図る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の貴重な緑空間と住民の憩いやふれあい場として、香里ヶ丘図書館の整備と併せて香里ヶ丘中央公園の再整備を行います。 	<p>【基幹事業】</p> <p>公園: 香里ヶ丘中央公園改修事業</p> <p>【関連事業】</p> <p>UR団地再生事業</p>
<p>【子育てしやすいまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香里団地保育所は定員増に対する環境改善として平成26年度に保育室の拡張を行いました。引き続き、保育室等の改修・衛生器具等の設備を更新するなど、待機児童解消のための施設機能や地域子育て支援機能を充実させることで、団地再生に併せた子育て世代の居住の促進を図ります。 	<p>【関連事業】</p> <p>枚方市立香里団地保育所改修事業</p>
<p>事業実施における特記事項</p>	

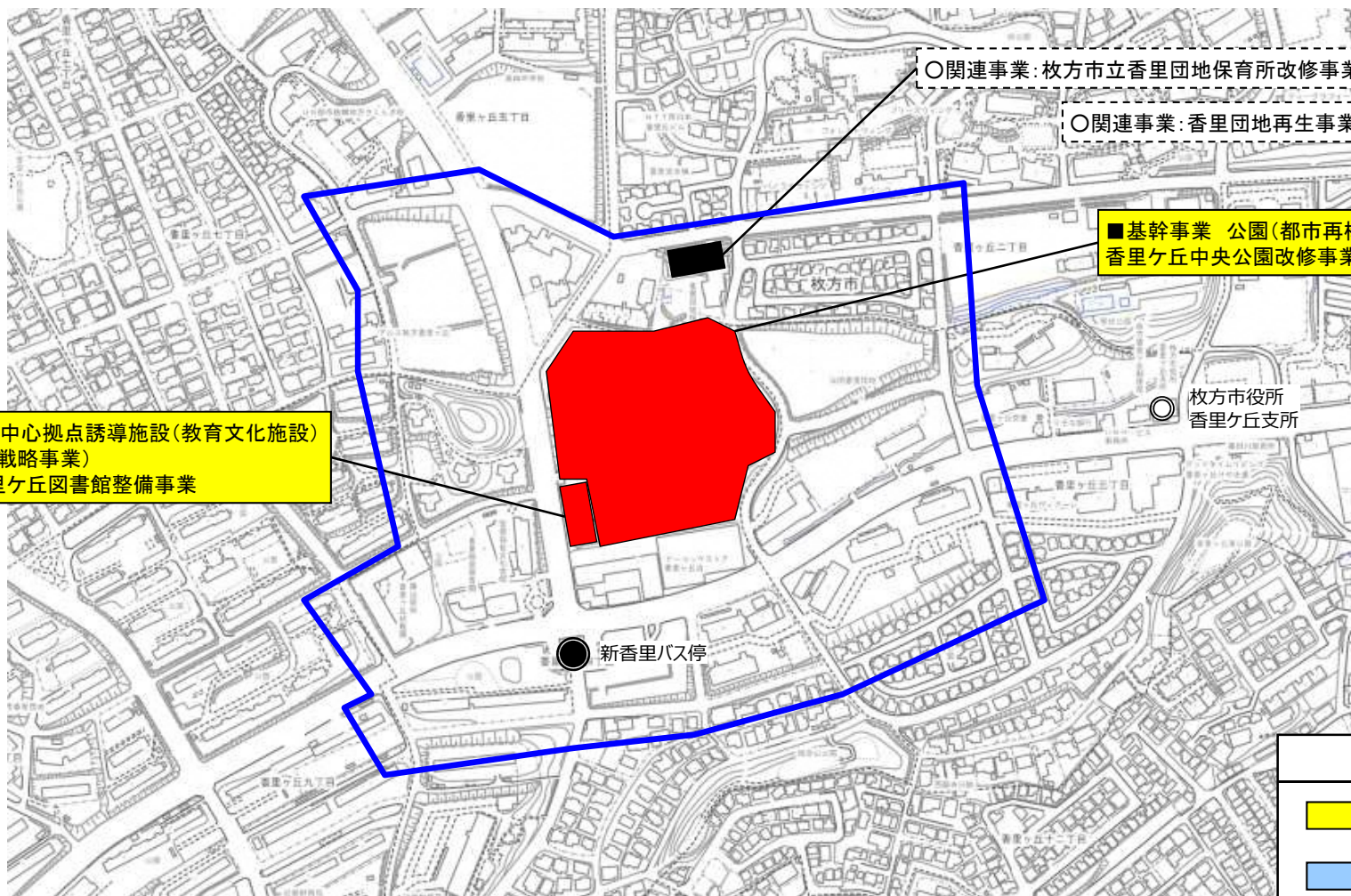
都市再生整備計画の区域

香里団地センター地区(大阪府枚方市)	面積	約19ha	区域	枚方市香里ヶ丘二丁目、三丁目、四丁目
--------------------	----	-------	----	--------------------



香里団地センター地区(大阪府枚方市) 整備方針概要図

目標	香里団地の再生まちづくり	代表的な指標	中心市街地の公共施設利用者への図書等貸出冊数	444,046冊/年	(H25年度)	→	530,000冊/年	(H31年度)
	目標1: まちのさらなる賑わいの創出		住民満足度	59.7%	(H25年度)	→	61.7%	(H31年度)
	目標2: 人と自然との共生を図る		区域内の地域子育て支援拠点利用人数	5,705人/年	(H24年度)	→	6,000人/年	(H27年度)
	目標3: 子育てしやすいまちづくり		公園使用回数	9回/年	(H29年度)	→	21回/年	(H31年度)



■ 基幹事業 中心拠点誘導施設(教育文化施設)
(都市再構築戦略事業)
枚方市立香里ヶ丘図書館整備事業

■ 基幹事業 公園(都市再構築戦略事業)
香里ヶ丘中央公園改修事業

○ 関連事業: 枚方市立香里団地保育所改修事業
○ 関連事業: 香里団地再生事業

○ 枚方市役所
香里ヶ丘支所

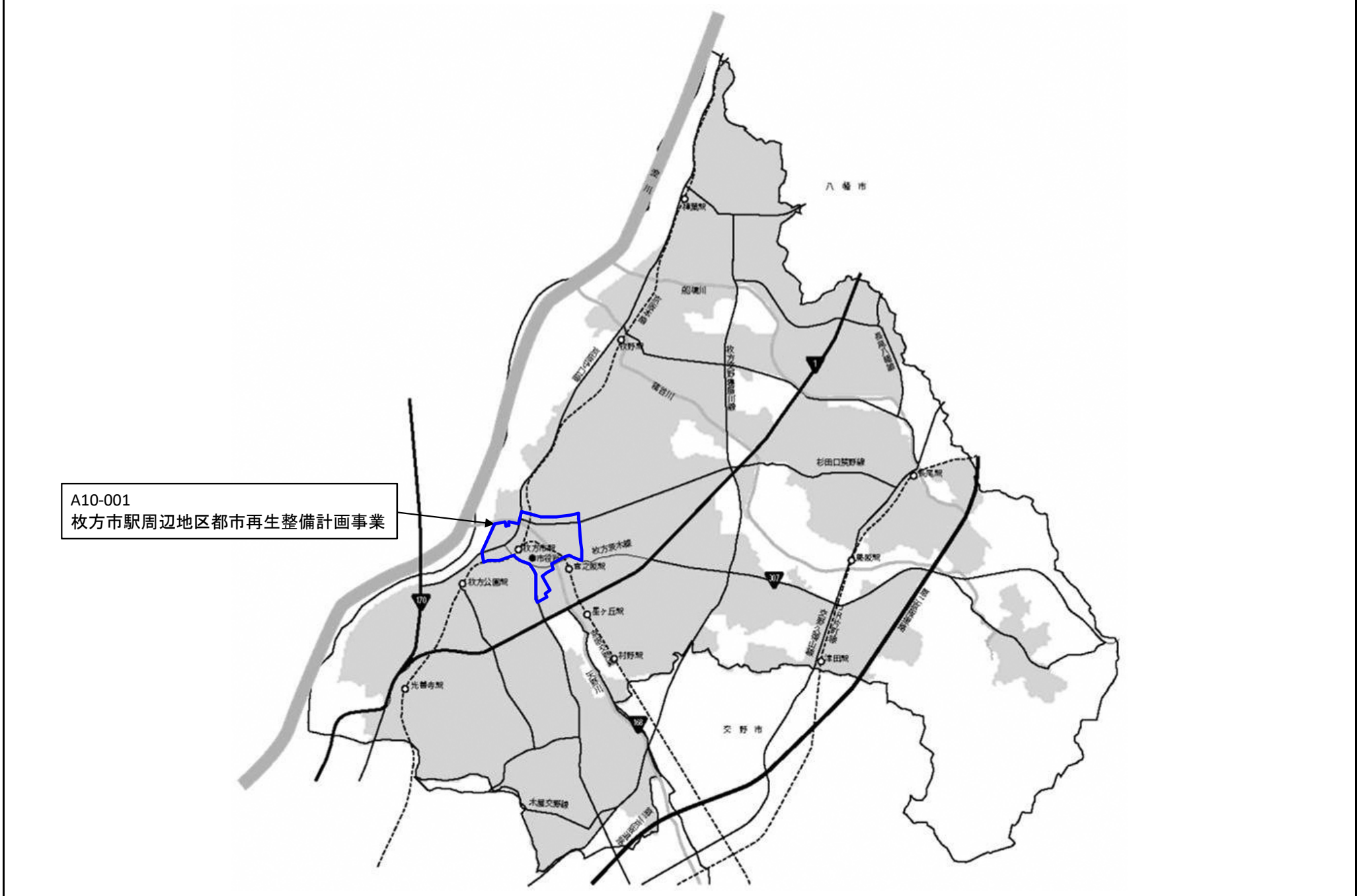
● 新香里バス停

凡例

- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業

(様式第3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	1 枚方市 地域拠点における魅力ある都市づくり	交付対象	大阪府枚方市
計画の期間	平成27年度 ~ 平成32年度 (6年間)		



都市再生整備計画

ひらかたしえきしゅうへんちく
枚方市駅周辺地区(第3回変更)
(都市再構築戦略事業)

おおさかふ ひらかたし
大阪府 枚方市

平成30年12月

様式1 目標及び計画期間

都道府県名	大阪府	市町村名	枚方市	地区名	枚方市駅周辺地区(都市再構築戦略事業)	面積	約103ha
計画期間	平成 27 年度 ～ 平成 32 年度			交付期間	平成 27 年度 ～ 平成 32 年度		

目標

地域資源を活かした拠点機能の強化による市の“玄関口”におけるまちの賑わい向上
 目標1:集客力の向上による賑わい創出 目標2:回遊性の向上による賑わい創出

目標設定の根拠

<都市全体の再構築方針>

本市は、大阪と京都の中間に位置しており、西の淀川や東の生駒山系の里山など、自然豊かな環境を有し、古くには京街道に枚方宿が設けられ人が集い、まちが栄えてきました。戦後、高度経済成長期には、住宅地が拡大し急速に人口が増加するとともに、産業や商業も大きく発展したことに伴う都市への需要に対応するため、都市基盤整備が進められ、現在の枚方のまちが形成されてきました。

一方で、昨今では、少子高齢化によるこれまで経験したことのない人口減少などにより都市の課題は大きく変化し、将来、人口減少や財政投資の制約が予測される状況のもと、持続的なまちの発展に向けて、市民の定住、市外からの転入促進を図ることが重要です。

そのため、まちの魅力の向上へ向けて、これまで守り育まれてきた歴史・文化や豊かな自然などの地域資源や先人が積み上げてこられた都市のストックを有効活用しながら、子どもから高齢者まで多様な世代が、快適で安全に暮らすことのできる環境づくりや、駅の周辺などにおいて人が集まる都市拠点づくりを進めるとともに、人々の回遊性を高める交通網の整備を行うことで、更なる賑わいと魅力にあふれる枚方のまちを実現していく観点から、「枚方市都市計画マスタープラン(H29.3)」を改定し、“まち・ひと・自然がつながり、持続的に発展する都市”を目指すこととしています。

さらに、「枚方市立地適正化計画(H29.3)」をあわせて作成し、「枚方市都市計画マスタープラン」で示す将来都市像を踏まえ、“より便利な都市を実現させていくこと”、“公共交通ネットワークを充実させること”の二つの目標を設定し、自家用車に過度に依存しなくても利便性が高く住みやすい都市を実現していきます。

また、公共不動産についても、これまでも一部廃止や他用途への転用、未利用地の売却など行政コストの縮減や公共施設の活用促進に努めてきましたが、今後は、さらに公共施設全体を把握して施設総量の適正化を図っていく必要があることから、「枚方市公共施設マネジメント推進計画(平成29年3月)」を策定し、総合的かつ計画的な管理を推進していきます。

まちづくりの経緯及び現況

■ 都市機能の状況

本地区は、本市を含む広域都市圏の中心的な機能を担っています。

古くは淀川舟運や旧京街道の宿場町という水陸の交通拠点として発展し、その後、高度経済成長期における大型商業施設の出店や市街地開発事業により、官公庁団地における市役所をはじめとした行政サービス施設や病院(特定機能病院)、商業、文化施設など基幹的な施設のほか、病院(産科など)、保育所(園)や幼稚園(認定こども園)など、多種多様な都市機能が立地しています。

しかしながら、近年は大規模商業施設の閉店などによる商業機能の不足をはじめ、昭和40年から50年代に実施された市街地再開発事業により立地した建築物の老朽化が進むなど、まちの賑わいが低下しています。

■ 主要な公共交通の状況

本地区の中心となる京阪枚方市駅は、京阪本線の特急停車駅として、多くの人が利用する本市の重要な交通機能を担っています。駅前については、市内各所や隣接市などの多方面をつなぐ複数の路線におけるバスが発着する駅前広場が整備されていますが、鉄道駅へ向かう交通の集中や、駅前を通過する車両などによる駅前広場の混雑が発生しているとともに、安全で快適な歩行空間の確保が必要となっているなど、交通環境の改善が求められています。

課題

■ 大規模商業施設の撤退などによる商業機能の不足をはじめ、昭和40年から50年代に実施された市街地再開発事業により立地した建築物の老朽化が進むなど、拠点機能の減退とともに賑わいが低下しています。

■ 京阪枚方市駅へ向かう交通の集中や、前を通過する車両による駅前広場の混雑や地区内道路での慢性的な交通渋滞の発生など、交通環境の改善と安全で快適な歩行空間の確保が必要です。

将来ビジョン(中長期)

【第5次枚方市総合計画(H28.4)】

施策目標:人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち

取り組みの方向

■ 利便性が高く、魅力あふれる中心市街地の形成に向けて、商業、文化芸術、居住施設をはじめ、緑化等による景観など、交通結節点におけるさまざまな機能を充実できるよう、枚方市駅周辺の再整備を進めます。

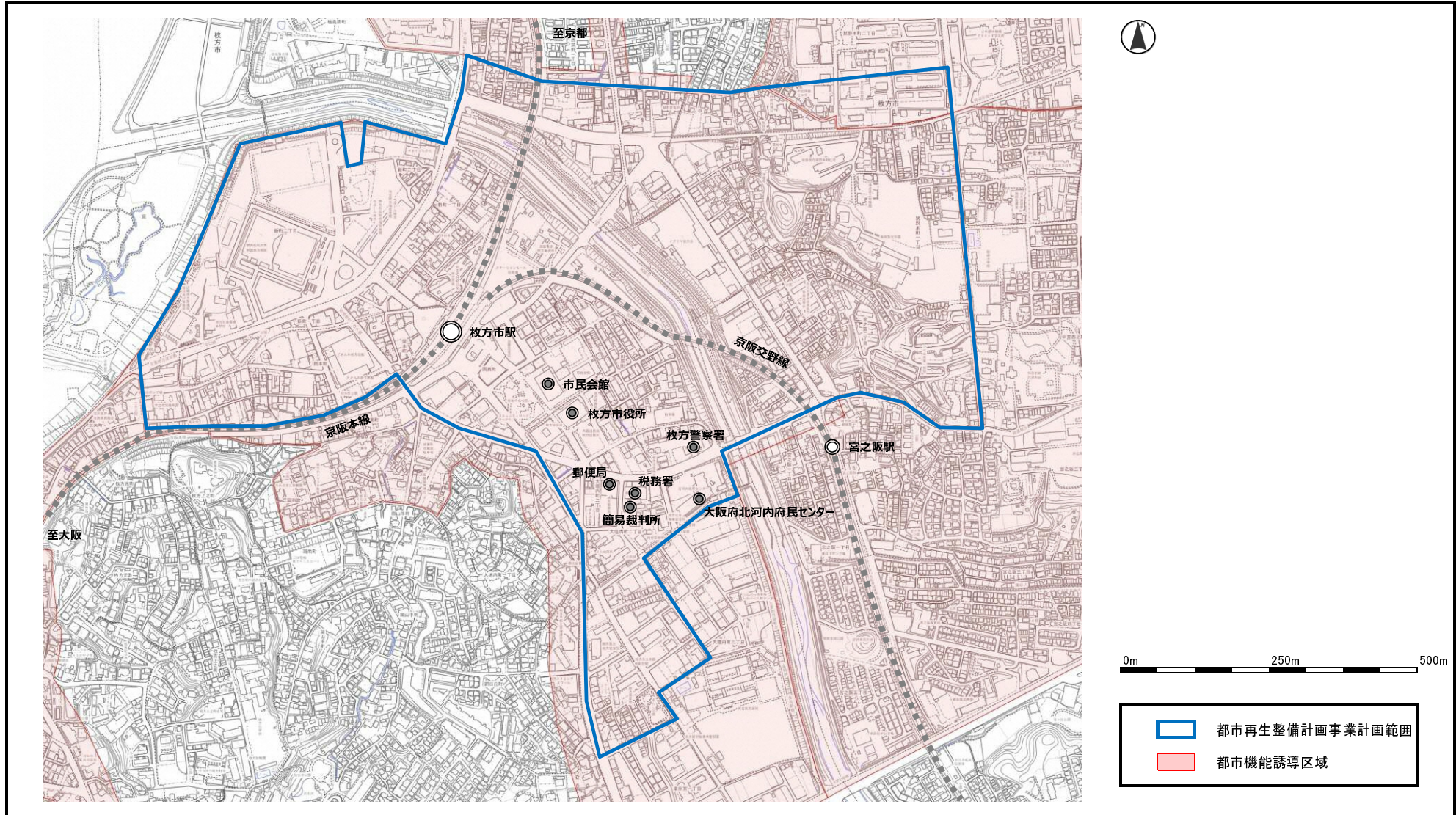
■ 枚方市駅周辺が、人々が集い交流し、さまざまな活動が活発に展開される拠点となるよう、各種イベントの開催など賑わいづくりを創出します。

様式2 整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【枚方市駅周辺における魅力あるまちづくり 目標1:集客力の向上による賑わい創出】 総合文化施設や施設前広場でのイベント開催、駅リニューアルや大学学部新設などの民間投資、地区内の歴史資源(宿場町)や自然資源(淀川)を活用した定期的な地域イベントの実施により、地区の集客力を向上し、賑わいを創出します。</p>	<p>【基幹事業】 高次都市施設(地域交流センター):総合文化施設 地域生活基盤施設:施設前広場整備事業 地域生活基盤施設:歩行者用デッキ整備事業 地域生活基盤施設:歩行者用エスカレータ整備事業</p> <p>【関連事業】 総合文化施設(大ホール) 京阪枚方市駅リニューアル 関西医科大学(学部新設) 街なみ環境整備事業(枚方宿地区) 枚方宿くらわんか五六市・淀川舟運事業 「観光施策に関する考え方」策定</p>
<p>【枚方市駅周辺における魅力あるまちづくり 目標2:回遊性の向上による賑わい創出】 地区内の道路整備とあわせた路線バスの運行ルート見直しにより、地区内の道路の渋滞解消に寄与するとともに、駅から集客コンテンツへとつながる安全・安心な歩行者動線を確保することで、地区の回遊性を向上し、賑わいを創出します。</p>	<p>【基幹事業】 道路:北側道路整備事業</p> <p>【関連事業】 (都)枚方藤阪線整備事業 外周道路整備事業 市道枚方市駅前線改良事業 京阪バス(株)交通体系の見直し</p>
<p>事業実施における特記事項</p>	
<p>【連携体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■相乗的な賑わい向上 — 官民連携 — <ul style="list-style-type: none"> ・街なみ環境整備事業:街なみの修景基準に沿った外観の修理・修景に係る一部経費等の助成 ・枚方宿くらわんか五六市:主催者(まちづくり協議会)へのイベント時の公共施設(市道等)活用支援 ・淀川舟運事業:五六市開催にあわせた民間主催による定期運航(H29.9～) ■総合的な取り組みによる賑わい向上 — 政策間連携 — <ul style="list-style-type: none"> ・「枚方市駅周辺再整備ビジョン」の策定(H25.3):駅周辺地域全体のエリアマネジメントを実施し、最適な土地利用検討を総合的に捉え庁内関係部署(総合政策部、市駅周辺等活性化推進部、産業文化部、都市整備部など)が横断的に連携し、賑わいのあるまちの構築を目指します ・道路整備にあわせた交通体系見直し:道路整備や歩道改良にあわせて京阪バス(株)の運行ルート見直しを実施します ・「観光施策に関する考え方」策定:観光地経営体(DMO)の確立に向けて、交流人口拡大や地域経済活性化の原動力となる観光施策の推進による賑わいの向上を目指します ・「公的不動産(国、大阪府、枚方市)の最適利用推進連絡会議」の設置 <p>【持続可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■自立化に向けた官民連携による賑わい向上 <p>エリアマネジメントの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枚方市駅周辺活性化協議会:北大阪商工会議所を中心に、計画段階から官民連携によるエリアマネジメント推進に取り組むため、参加団体からの選抜メンバーによる「勉強会」をスタート ・連鎖型まちづくり:総合文化施設へ機能移転する現市民会館用地や、駅周辺再整備にて創出される公的不動産の跡地を活用した連鎖型まちづくりによる賑わいを向上します <p>地域事業者等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合文化施設:地域事業者等と連携し魅力的で多彩な事業を展開 ・淀川舟運:民間事業者による自立運営に移行し、さらに上流側(八幡・伏見)へ事業展開を検討 <p>■観光地域づくりを担う人材育成による賑わい向上 観光地経営体(DMO)の確立に向けた観光戦略の一環として、枚方市に愛着を持つ人材を掘り起こし、五六市など地域イベントや総合文化施設での民間イベントなど集客コンテンツ間を継続的に連携する観光地域づくりを担う人材育成につなげることで賑わいを向上します</p> <p>■公共施設の一体管理による賑わい向上 指定管理者によって総合文化施設と周辺の公共施設を一体運営することで、民間事業者のノウハウを活用した効率的な管理による維持費の低減や賑わいの向上につなげます</p>	

都市再生整備計画の区域

枚方市駅周辺地区(大阪府枚方市)	面積	約103ha	区域	枚方市新町二丁目から東田宮一丁目
------------------	----	--------	----	------------------



枚方市駅周辺地区(大阪府枚方市) 整備方針概要図

目標	枚方市駅周辺における賑わいのあるまちづくり — ひたが主役のゆとりと賑わいのあるまち — 目標1: 集客力の向上による賑わい創出 目標2: 回遊性の向上による賑わい創出	代表的な指標	賑わい向上による地価向上	461千円/㎡	(H29年度) →	530千円/㎡	(H33年度)
			来訪者数の増加による売り上げ増加	310百万円/年	(H29年度) →	757百万円/年	(H33年度)
			公共交通利用者数の増加による売り上げ増加	24百万円/年	(H29年度) →	83百万円/年	(H33年度)

